



宮床中だより 「ささくら」

学校教育目標
「豊かな心を持ち、自ら学び共に高め合う生徒の育成」

【第12号】 12月23日(月)発行

大和町立宮床中学校
電話:(346) 2006

83日間、充実の2学期でした！

1年間の中で1番長い学期である2学期も今日で終業式を迎えました。この2学期は、新人戦や運動会などの大きな行事に加え、各学年ごとに様々な行事や活動がありました。それら、どの行事や活動においても、周囲と協力しながら精一杯に自分の力を発揮する宮中生の姿が見られた、充実の2学期となりました。冬休みの間には新年を迎え、2020年(令和2年)がスタートします。3学期は各学年のまとめの時期であると同時に、進学、進級への準備の時期でもあります。この2学期の経験や学びを土台として、さらにステップアップしていく宮中生を期待しています。



※朝の登校風景。毎朝、地域の方の見守りで安全に登校できています。

【12.23 第2学期終業式 校長式辞より】

夏・秋・冬と3つの季節をまたがり83日と最も長く、中身もぎっしり詰まった2学期も今日で終わります。今、この終業式に臨む皆さんの凛とした真剣な態度から、一人一人が充実した2学期を過ごせたという思いが伝わってきます。2学期の始業式には、君たちに期待することとして、「宮中生としての誇り・プライド」そして「先輩達が作り上げてくれた伝統・ブランド」の二つを大事にして、一人一人が一つ一つの活動、そして一日一日をしっかりと積み上げて生活するようお話をしました。その期待に応えて、君たちは本当によく頑張りました。

この2学期を振り返ってみると、地区駅伝大会の大躍進に始まり、地区新人大会での各部の大活躍、女子卓球部の県準優勝、フィギュアスケートでは中川さんが東北大会準優勝を収めました。そして宮中3大行事の一つ運動会では、台風19号の影響で平日開催になったにもかかわらず、3年生の最上級生としての自覚とリーダーシップ、それを支える2年生・1年生のクラスの団結力を見せた取組など、私たち教員だけでなく、保護者や地域の皆さんにも、多くの感動を与えてくれました。まさに、こうした君たちの活躍、一人一人の頑張りが宮中生としての誇りを高め、先輩達が築き上げてきた良き伝統をしっかりと受け継いでいると実感しました。さらに、こうした活躍を通して、君たち自身が充実感や達成感を味わうとともに、努力の大切さや仲間のありがたさなどを実感できたのだと思います。また、行事以外でも、日々、宮床中学校の良さを様々な感じながら過ごしてきました。生徒会新執行部は、生活委員会と連携してあいさつ運動を展開しています。各運動部は、夏に向けての目標をしっかりとをもって、練習に熱心に取り組んでいる姿がありました。また、美術部やパソコン部では、自分たちの作品をはじめ各部への激励を込めた応援新聞を掲示するなどして、学校を盛り上げてくれています。多くの教育活動の中で、自分だけでなくみんなで成長する。みんなの力を借りてあるいは力を貸して一緒に成長する。そんな2学期だったと思います。

2019年もあと1週間あまり、2020年はもうそこまで来ています。2020年は東京オリンピック・パラリンピックイヤーです。世界と日本が強い結びつきでつながる年でもあります。学校の外にも目を向けるいいチャンスです。そうした新年に向けて、今年を振り返り、来年一年の設計図をしっかりと立ててください。各学年に私からのメッセージをお話しします。

3年生は、新年早々、私立高校の受験が始まります。受験本番です。不断の努力を忘れずに、自分の進路実現のために、つらさや苦しさから決して逃げず、最大限の努力をしてください。そして受験は団体戦。クラスや学年の仲間と励まし合いながら、皆で突破していこう。

2年生は、来年4月からいよいよ最上級生、まさに学校の顔になります。3学期には最上級生になるための自覚を持ち、しっかりと準備をしてほしいと思います。そして1年後の自分を思い描いて、新年の目標をしっかりと立てましょう。

1年生は、さまざまな活動を通して、心身共に大きく成長しました。君たちも4月からは「先輩」と呼ばれる立場です。今後ますます、自分のことだけでなく周りのことにも目を向けなければならなくなります。また、正しいことや当たり前のことを堂々とやり通す勇気をもって取り組んでください。

宮中生誰もが、「2019年の自分を超えられる」ように、冬休みには健康に気をつけ、事件や事故に遭わないように15日間の冬休みを有意義に過ごし、良い年を迎えてください。1月8日の3学期始業式に全員元気で会えることを祈って式辞とします。